

麦稈真田の価値を見直してもらおうきっかけづくり

相澤麻有子

活動の目的

麦稈真田を知っている世代と知らない世代、両者へ向け
て麦稈真田の価値を見直してもらおうきっかけづくりを目指す。
ワークショップの実施、冊子を作ることで麦稈真田に
対して丁寧に作られる良品、美しいもの、地域の中で育ま
れた良質な文化などポジティブなイメージづくりを目的と
する。

活動の内容及び経過

笠岡市内お年寄りから麦稈真田について聞き取り調査を
実施し、昔の内職や生活の様子そして麦稈真田の組み方を
教えてもらった。そこで知り合ったお年寄りに講師となっ
てもらい計7カ所で麦稈真田組みワークショップを実施し
た。これらの活動をまとめた冊子「麦稈真田のすゝめ」を
2000冊作製し市内公民館、図書館、店舗、今後のワーク
ショップ時に配布。

活動の成果・効果

16名の笠岡市内のお年寄りから聞き取り調査を実施し、
当時の内職や生活の様子さらに3種類の麦稈真田の組み方
を教えてもらった。聞き取り調査をすることで麦稈真田の
理解が深まるだけでなく、話をしてくれたお年寄りたちが
楽しそうに昔話をしてくれたのが印象的だった。

その教えてもらった昔の知恵や文化を若い世代に伝える
ため、地域のお年寄りに講師となってもらい笠岡市内6カ
所、岡山市内2カ所でワークショップを一緒に実施し約150
名の来場者を迎えた。特に子供へのワークショップの会場
では子供達が見たことも触ったこともない麦わらを使い彼
らのおじいちゃん、おばあちゃん世代の先生から話を聞き
一緒に手を動かす様はお互いにとって良い刺激となった。
参加した子供の中には自分で帽子を作りたいと話す子
もいた。

2019年2月の笠岡市生涯学習フェスティバルにて1年間
の活動報告と3月に笠岡市歴史文化基本構想シンポジウム
のパネラーとして活動発表。地元の文化や歴史研究に携
わっている来場者が多数いた会場で活動報告したことで、自
分の存在を知ってもらったことと、昔の情報や道具、畑の
情報提供をしてくれた方があらわれた。

活動をまとめた冊子「麦稈真田のすゝめ」を2000冊作製
し市内公民館、図書館、店舗、今後のワークショップ時に
配布。冊子内でインタビューしたお年寄りが冊子を配って
くれ、次の聞き取り調査の対象者が決まった。帽子産業の
関係者へも冊子が手に渡り今まで知らなかった麦わら帽子
の歴史が知れ良い発見になったと感想をもらった。



麦稈真田についての冊子を作るとで自分の活動を客観
的に見ることができ、また出来上がった冊子を見た人の反
応を見て次の展開を考えることができた。

2019年6月27日山陽新聞井笠版と7月3日山陽新聞夕刊に
冊子の記事が載ったことにより冊子がほしいという問い合わ
せが約30件、更に麦稈真田と冊子の紹介のためRSKのお屋
の番組の1コーナーより出演依頼を受けた。

新聞掲載とラジオ出演がきっかけで問い合わせをくれた方
5名に直接会い話をすることができた。内4名は麦稈真田を懐
かしく思ったお年寄りで、昔の農家の話や町中の帽子屋の様
子を語ってもらい当時の様子をうかがい知ることができた。冊
子をこれら出会った方々に見せると懐かしい、分かりやすく読
みやすいと喜んでもらえ話が弾み、地域の足跡を文章や写真
で残す大切さを感じた。

今後の課題と問題点

現在はまだ当時の様子を語ってくれ、ワークショップで
指導してくれるお年寄りが元気であるが、あと10年経てば
彼らから教えてもらったり技術面での協力を得ることは困
難となるのは避けられない。それをふまえ一人でも多くの
声を残すこと、また伝承したい技の習得は必至である。

- 代表者：相澤麻有子 ●所在地：笠岡市
- TEL：090-9018-0854 ●E-MAIL：aizawamayuko@gmail.com
- URL：bakkan-susume.tumblr.com
- 設立年：2017年 ●メンバー数：1名